

社 報



リスクを引き受ける

サポート巻上げ試験

7月16日にサポートの巻上げ試験を行ないました。ピンポイント工法に関連して実施した試験ですが、その結果は、サポートハンドルを手巻きで約700kg～900kgの力を掛けられることを確認しました。ハンドルにパイプを差して巻上げた場合は、約1,600kg～1,900kgの力を掛けることができました。人間の力でも結構な力を加えることができ驚きました。



リスクとは、ある行動に伴って危険が発生する可能性を言います。通常、リスクの大小を言う場合には、発生する危険の大きさと発生する確率を組み合わせで考えます。

しょっちゅう起こる危険であっても、その危険度が低い場合には、リスクは小さいですし、ごくまれにしか起こらない危険であっても、その危険がはなはだ重大である場合にはリスクは大きいということになります。

現場では作業を行うにあたり、リスクアセスメントを行ない、重大な災害を起こさないように、日々注意喚起が行われています。

ビジネスの世界でも良くリスクという言葉が使われます。この場合は、投資によって儲けようとする場合に、失敗して金銭を失うケースを言います。

投資にはいろんな投資があります。株・債権・預金などが主なものですが、投資で高い利回りを得ようとする、リスク(お金を失う機会)も当然高くなります。ハイリスク・ハイリターンなどと呼ばれ、通常は株式投資などがこの分野に入ります。

一方、銀行預金などは、ローリスク・ローリターンと呼ばれ、利回りは低いけれど、元本は保証されます。

近頃、日本の大企業でリスクを引き受けても新しいビジネスに挑戦しようとする会社が減ってきているようです。

先日テレビで、アメリカの有名な経営社が日本企業の感想を聞かれて、真面目でコツコツ仕事をする姿には頭が下がる、しかし、各社とも同じような仕事を、同じようなやり方で、競争しているように思う。リスクを引き受けて、誰もやったことのない仕事をやるという意欲に欠けていると、言っていました。

日本の建設業界こそまさにその典型であり、同じような仕事を、同じようなやり方で大変な苦勞をしているという実態です。

当社のような小さな会社でも、誰もが経験したことのない未知の仕事であれば、ビッグビジネスに発展する可能性もあります。

リスクを恐れずに、未知の仕事に挑戦できれば・・・楽しいと思います。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

熱中症シーズン

日本の夏は、温度・湿度とも高く、不快な季節で、毎年のように多くの職人さんが、この暑さで熱中症にかかっています。

熱中症はケガでも病気でも、ありません。人の健康・安全と言う観点から見れば、死をも招きかねない過酷な労働環境の下で、本当に働かねばならないのか自体が問われることだと思

ます。ですから、現場で気分が悪くなった場合は、ためらうことなく作業を中断して、すぐに病院へ行って手当てをしてもらってください。

周囲に迷惑をかけるなどは思わずに、自分の命を大切に行動することになるためのいもいりません。

2010年 安全成績

■現場災害 H22.1.1-H22.7.18	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■交通災害 H22.1.1-H22.7.18	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 2
合計	----- 2